

業績報告書のお届けについて

今後、業績報告書については年2回のお届けとなります。次回の業績報告書は、第2四半期決算後にお届けする予定です

株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法	電子公告 当社ホームページ (https://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先・郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00～17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関(☎0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

株式の諸手続き 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 郵便物の発送／返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711 (平日9:00～17:00)

手続き用紙のご請求先
● 音声自動応答電話によるご請求
☎0120-244-479 (24時間)

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながる
FSC® 認証紙を使用するとともに、
植物油インキを使用しています。



株主・投資家の皆さまへ

業績報告書



2015年実績および2016年業績見込



2015年海外たばこ事業実績および2016年業績見込



JT NEWS



JTグループ商品のご紹介



JTグループのCSRの取り組み



旅路の先で出会う温故知新



すべての事業セグメントで 利益成長を達成 今後も中長期を見据えた 投資を強化

代表取締役社長

小泉 光臣

2015年実績

2015年は、厳しさを増す事業環境であったものの各事業において好調な成長モメンタムを維持することができました。全社の利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は対前年9.9%の成長と、中長期の目標である「Mid to high single digit」の利益成長を達成いたしました。

海外たばこ事業は、2015年も力強いパフォーマンスを発揮いたしました。欧州におけるGFB^{※1}シェアの伸長、各国における着実な単価上昇効果により、為替一定ベースの調整後営業利益は10.8%と二桁成長を達成すると同時に、中長期的な利益成長をにらんだ継続的な投資も実施しております。すでにプレゼンスを発揮している市場のみならず、将来の利益貢献が期待できる市場への投資が持続的な成長には不可欠との考えのもと、2016年以降もこのような市場への投資を継続してまいります。

国内たばこ事業においては、他社との競争が厳しさを増す中、MEVIUS、Winstonなど、それぞれの価格帯の中核を担うブランドに対し、エクイティ向上を企図した投資を継続的に行ってまいりました。中でもWinstonは、ブランド統合を通じた刷新を行うとともに、積極的に新製品投入を行うことで、ブランド力強化に向けた取り組みを実施いたしました。

また今後、高価格帯で強いプレゼンスを有するNatural American Spiritが加わることで、さらに盤石なポートフォリオを築くことができると確信しております。

医薬事業および加工食品事業につきましても、引き続き着実なトップライン成長を実現し、いずれの事業も前年を上回る

実績となりました。今後も調整後営業利益のさらなる成長に向け、事業基盤の強化を進めてまいります。

株主還元に関しては、スピード感をもって、強化してまいりました。2015年の配当は通期で118円、連結配当性向についても、継続事業ベースでは53.2%となり、目標として掲げていた50%を達成いたします。加えて、2015年は自社株買いも実施しており、グローバルFMCG(日用消費財)と比肩する、競争力ある還元水準を実現いたしました。

経営計画2016

先に発表いたしました経営計画2016において、これまでと同じく為替一定ベースの調整後営業利益で「Mid to high single digit」の利益成長を中長期目標としてお示しいたしました。経営を取り巻く環境はこれまで以上に厳しさを増していくものと想定しておりますが、2016年も前年と同様、中長期にわたる「持続的な利益成長」を追求してまいります。

その達成のためには、継続的な投資が不可欠だとわれわれは考えています。資源配分方針についても、JTグループの経営理念である「4Sモデル」に則り、中長期にわたる持続的な利益成長につながる事業投資を最優先するとともに、事業投資による利益成長と株主還元のバランスを引き続き重視してまいり所存です。

株主還元については、2015年にこれまでの目標を達成したことで、新たなステージに入ったと考えております。今後は、積極的な事業投資を継続しながらも、強固な財務基盤を維持しつつ、中長期の利益成長に応じた株主還元の向上を図り、1株当たり配当金について、安定的・継続的な成長を目指してまいります。

2016年業績見込

2016年のビジネスモメンタムは引き続き強いものと見ており、為替一定ベースの調整後営業利益は中長期の目標である「Mid to high single digit」の成長率に沿った7.4%の成長を見込んでおります。

営業利益、当期利益につきましては、昨年同様為替が業績にネガティブな影響をおよぼすと見立てているものの、為替一定ベースでの利益増や不動産売却益の増加等の増益要因が相殺するため、前年並みの水準を維持する見通しです。

2016年の1株当たり配当金につきましては、対前年8.5%成長の128円を見込んでおります。

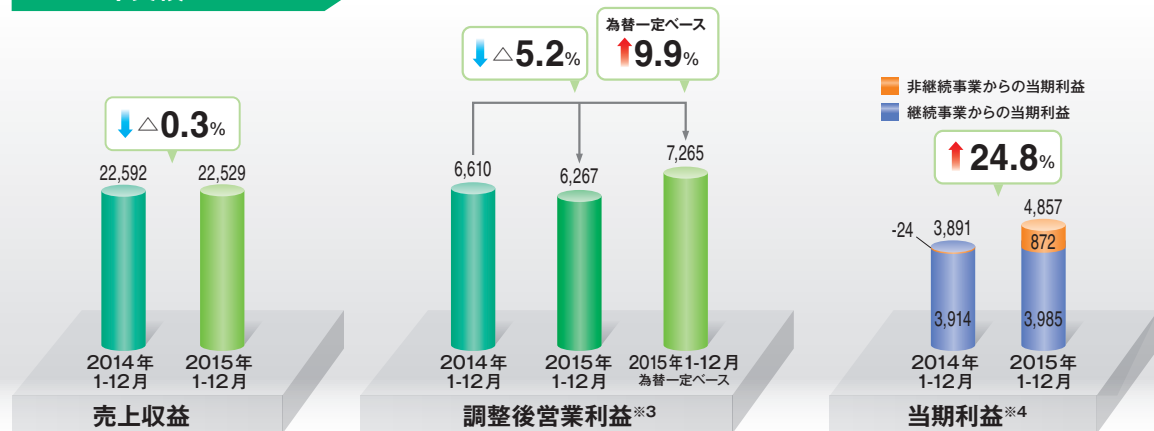
JTグループの経営理念は「4Sモデル」です。この理念は不変であり、お客様、株主、従業員、社会の4者の満足度をバランスよく高めていく、ということに変わりはありません。われわれの全ての判断、行動はこの理念に基づいています。

3年先、5年先を正確に見通すことなど不可能な現代においても、短期的な成果のみに捉われることなく、常に中長期的に将来を見据え、変化に柔軟に対応しながら、時に大胆に行動していくことこそが、JTグループのDNAであり、今後の成長に向けたただ一つの手段であると考えています。

厳しい事業環境のもとにあっても持続的な利益成長を達成すべく、断続的な努力を継続してまいります。

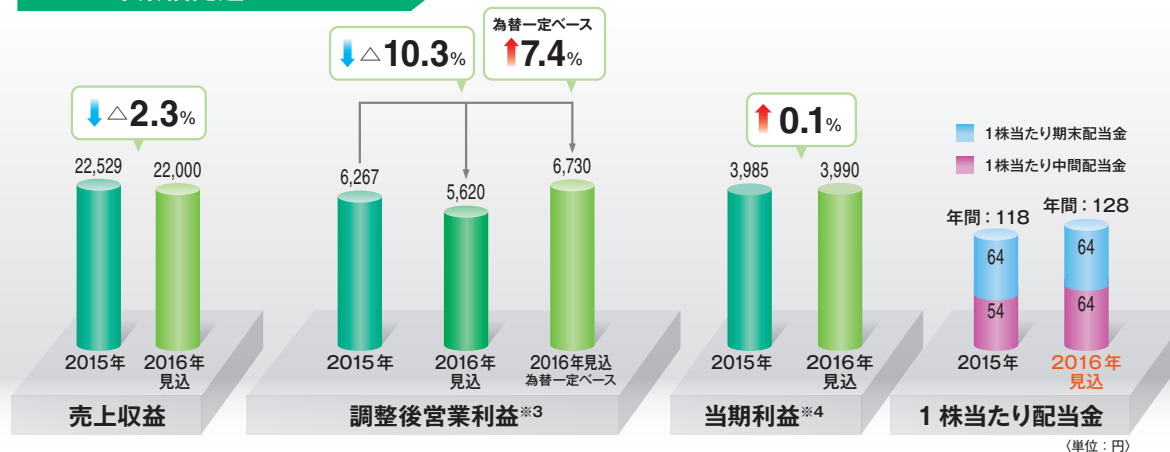
※1 JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「Winston」「CAMEL」「MEVIUS」「LD」「Benson&Hedges」「Glamour」「Silk Cut」「Sobranie」の8ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております。2016年12月期より、既存8ブランドに加え、2016年1月に買収を完了した「Natural American Spirit」を含む9ブランドをGFBとしています

2015年実績 (単位: 億円)



当年度において飲料事業を非継続事業に分類しております。これにより、非継続事業からの利益または損失は、「非継続事業からの当期利益」として表示しております。なお、前年同一期間の実績についても、同様に組み替えて表示しております。売上収益、調整後営業利益、調整後営業利益(為替一定)は継続事業ベースの数値です。

2016年業績見込^{※2} (単位: 億円)



※2 見込の増減率は前年実績との比較です。

※3 調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)＊

＊調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失土リストラチャリング収益および費用等

※4 親会社所有者帰属

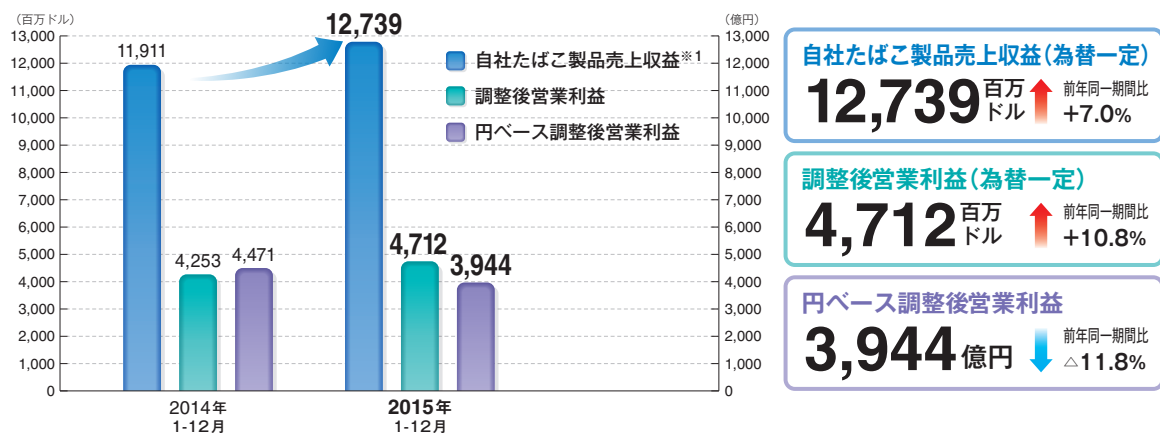
海外たばこ事業

GFBの好調および
単価上昇効果により堅調な実績

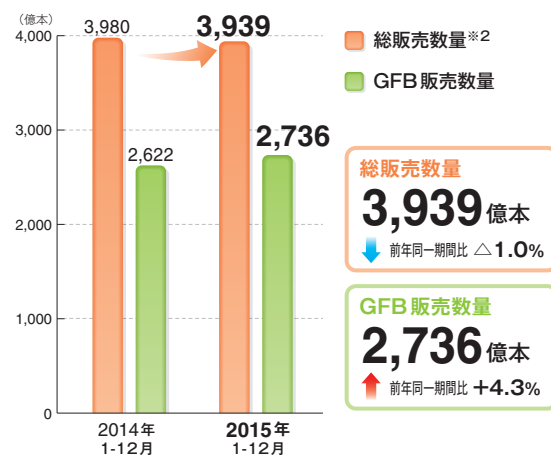
GFB販売数量は、欧州を中心に各国においてシェアが伸長したことに加え、トルコでの好調等もあり、対前年4.3%増と高い成長となりました。総販売数量は、主にロシアにおける総需要の減少等があったものの、GFBの成長により1.0%の減少にとどまりました。GFBの好調や単価上昇効果により、為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は7.0%増、調整後営業利益は10.8%増と、それぞれ成長いたしました。円ベースの調整後営業利益は円安のポジティブな効果はあるものの、現地通貨対ドルのネガティブ影響を受け11.8%の減益となりました。

2016年もGFBの成長に加え着実な値上の継続が牽引し、為替一定ベースの調整後営業利益は9%の成長となる見通しです。同時に、プレゼンスの強化、製品ポートフォリオの拡充、地理的拡大といった事業投資を引き続き強化してまいります。

海外たばこ事業実績



海外たばこ事業販売数量実績



※1 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み

※2 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み

国内たばこ事業

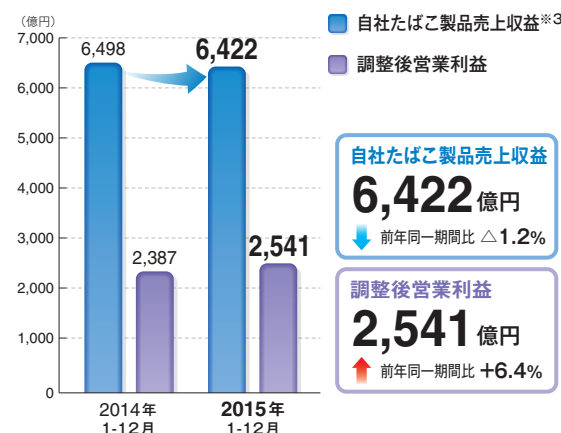
力強いブランドエクイティにより、
JT/MEVIUSシェアは安定した実績

競合他社との競争が激化する中、MEVIUSやWinstonを中心に、販売促進やブランドエクイティ向上のための投資を継続してまいりました。その結果、販売数量は対前年で2.8%の減少とほぼ想定通りの実績となり、JTシェア、MEVIUSシェアはそれぞれ安定した実績を残しています。

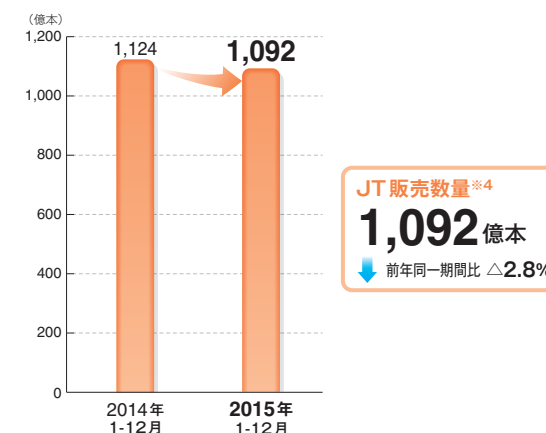
販売数量の減少はあるものの、単価上昇効果に加え、競争力強化施策効果の発現等により、調整後営業利益は6.4%増加し、着実な利益成長を実現しました。

2016年は引き続きMEVIUSに注力するとともに、Winston、Seven StarsおよびNatural American Spiritを加えた4ブランドを中心にブランドエクイティのさらなる向上に努めてまいります。またこれらを支える販促投資を強化し、中長期にわたるトップライン成長を目指してまいります。調整後営業利益は、投資を増加させつつも、売上収益の増加および競争力強化施策効果の通年化等を主因に2.7%増を見込んでいます。

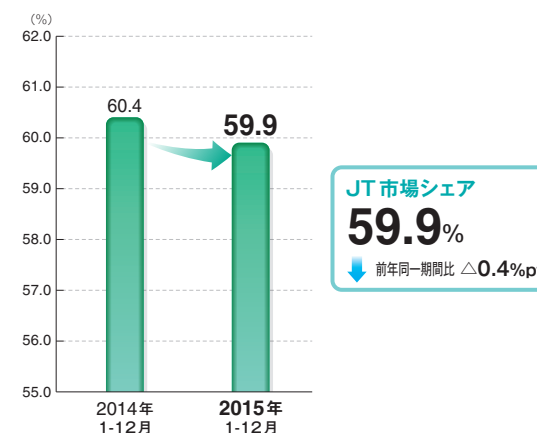
国内たばこ事業実績



JT販売数量実績



JT製品の市場シェア



※3 輸入たばこ配送手数料収益等を控除

※4 国内免税販売および中国事業部分を含まない

医薬事業

ロイヤリティ収入の増加、鳥居薬品の伸長により増収

売上収益は、ロイヤリティ収入の増加や鳥居薬品株式会社でのリオナ錠250mg等の販売が好調に推移したことにより、対前年で98億円増収の756億円となりました。調整後営業利益は、売上収益の増加等により50億円改善し23億円の損失となりました。開発状況については、現在当社において9品目が臨床開発中です。

2016年は引き続きロイヤリティ収入の増加を見込み、かねてからの目標としておりました黒字化を達成できる見通しです。なお、全社為替一定ベースでの調整後営業利益は対前年で463億円の増益を見込んでおり、そのうちの約2割となる93億円は医薬事業の貢献となる見込みです。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2016年2月4日現在)

自社開発品

開発名 (一般名など)	想定する適応症 / 剤形	開発地域	開発段階					備考
			Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請中	
JTK-303 (エルビテグラビル) / コビススタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠	HIV感染症 / 経口	国内	●	●	●	●		JTK-303(エルビテグラビル) は 自社品、他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠	HIV感染症 / 経口	国内	●	●	●	●		導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病 / 経口	国内 海外	● ●	● ●				自社品
JTZ-951	腎性貧血 / 経口	国内 海外	● ●	● ●				自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口・外用	国内	●	●				自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外	●					自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外	●					自社品
JTT-251	2型糖尿病 / 経口	海外	●					自社品
JTK-351	HIV感染症 / 経口	国内	●					自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

導出品

一般名等 (当社開発番号)	導出先	備考
trametinib	Novartis社	(適応: メラノーマ) 日本申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	
JTE-052	LEO Pharma社	

前回公表時(2015年11月4日)からの変更点

<導出品>

・Gilead Sciences社 抗HIV薬 Genvoya(elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide 配合錠)につき、米国及び欧州における承認取得を公表(2015年11月5日、11月23日)

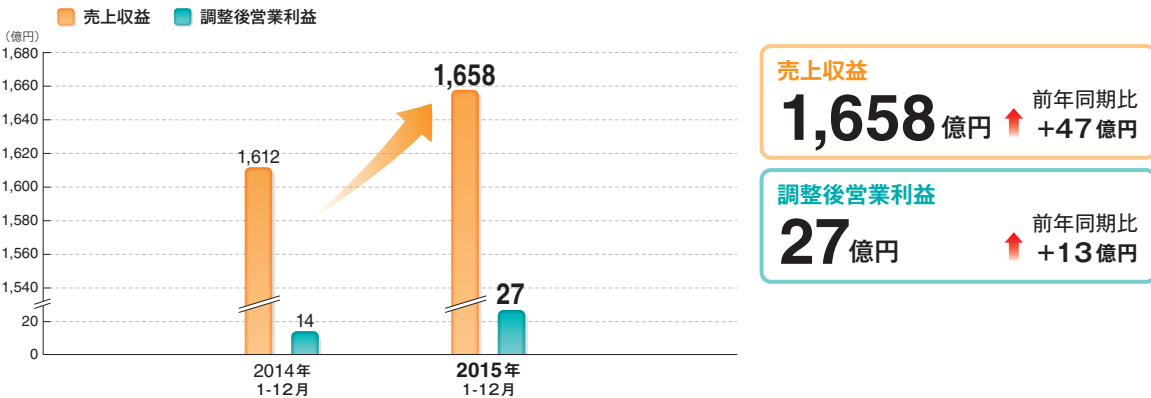
加工食品事業

着実なトップライン成長を実現

冷凍麺、冷凍米飯、パックご飯、焼成冷凍パン等の高い商品力・市場シェアを有するステープル(主食)商品の積極的な販売促進に努めました。売上収益は冷凍・常温加工食品を中心に販売が好調に推移したことから、対前年47億円増収の1,658億円となりました。調整後営業利益は、売上収益の増加により13億円増益の27億円となりました。

2016年もステープル商品を中心としたトップラインの伸長と、不断のコスト低減に取り組み、調整後営業利益の着実な増加を目指してまいります。

加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込と大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

連結財務諸表

- 当社は、前年度において、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。また、決算期が12月31日以外の連結子会社についても、同様の変更を行いました。この変更に伴い、前年度は2014年4月1日から2014年12月31日までの9ヶ月間となっております。なお、海外たばこ事業セグメントに属する連結子会社の決算日は従前より12月31日であり、2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間を前年度に連結しております。
- 当年度においては、飲料事業を非継続事業に分類しております。これにより、非継続事業からの利益または損失は、「非継続事業からの当期利益」として、継続事業と区分して表示しております。なお、比較情報についても、同様に組み替えて表示しております。

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科 目	前年度 (2014年12月31日)	当年度 (2015年12月31日)	増減金額
資産			
流動資産	1,696,874	1,798,217	101,343
非流動資産	3,007,832	2,760,017	△247,815
有形固定資産	756,127	681,865	△74,262
のれん	1,539,376	1,429,287	△110,089
無形資産	364,912	332,478	△32,434
投資不動産	17,870	23,614	5,744
退職給付にかかる資産	35,402	38,954	3,552
持分法で会計処理されている投資	76,825	59,523	△17,303
その他の金融資産	91,959	101,727	9,768
繰延税金資産	125,361	92,570	△32,792
資産合計	4,704,706	4,558,235	△146,472

point1 流動資産

現金および現金同等物が増加しました。

point2 のれん

新規買収に伴う計上があったものの、為替影響により減少しました。

(単位:百万円)

科 目	前年度 (2014年12月31日)	当年度 (2015年12月31日)	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,360,098	1,265,920	△94,178
非流動負債	722,106	770,790	48,685
負債合計	2,082,204	2,036,710	△45,493
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,536,838	2,451,596	△85,242
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△344,447	△444,333	△99,886
その他の資本の構成要素	142,425	△137,122	△279,547
利益剰余金	1,902,460	2,196,651	294,191
非支配持分	85,665	69,929	△15,736
資本合計	2,622,503	2,521,524	△100,978
負債および資本合計	4,704,706	4,558,235	△146,472

point3 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

point4 利益剰余金

親会社持分の当期利益を計上したことにより増加しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	当年度 (2015年1月1日～ 2015年12月31日)	増減金額
継続事業			
売上収益	2,019,745	2,252,884	233,139
売上原価	△822,538	△920,056	△97,519
売上総利益	1,197,208	1,332,828	135,620
その他の営業収益	47,419	15,367	△32,052
持分法による投資利益	7,812	6,381	△1,431
販売費および一般管理費等	△752,559	△789,346	△36,787
調整後営業利益*	588,684	626,657	37,973
営業利益	499,880	565,229	65,349
金融収益	13,808	15,016	1,208
金融費用	△11,162	△15,132	△3,970
税引前利益	502,526	565,113	62,587
法人所得税費用	△132,811	△162,386	△29,575
継続事業からの当期利益	369,715	402,727	33,012

非継続事業

非継続事業からの当期利益 △1,088 87,515 88,604

全社ベース (継続・非継続事業合算)

当期利益 368,626 490,242 121,616

当期利益の帰属

親会社の所有者に帰属する当期利益	362,919	485,691	122,772
非支配持分に帰属する当期利益	5,708	4,551	△1,157
当期利益	368,626	490,242	121,616

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用) *

* 調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	当年度 (2015年1月1日～ 2015年12月31日)	増減金額
当期利益	368,626	490,242	121,616
税引後その他の包括利益	△123,759	△282,534	△158,776
当期包括利益	244,868	207,708	△37,160
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	240,363	203,257	△37,105
非支配持分に帰属する当期包括利益	4,505	4,450	△55
当期包括利益	244,868	207,708	△37,160

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	当年度 (2015年1月1日～ 2015年12月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,696	468,432	△75,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,110	△63,271	△14,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388,859	△254,852	134,007
現金および現金同等物の増減額(減少)	105,727	150,309	44,583
現金および現金同等物の期首残高	253,219	385,820	132,601
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	26,874	△9,365	△36,239
現金および現金同等物の当期末残高	385,820	526,765	140,945

point5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業債務の減少および未払いたばこ税等の減少により、減少しました。

point6 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に社債の償還を行っているため支出額が減少しました。



ブランドエクイティの強化と着実な値上げにより
利益二桁成長を達成

2016年2月5日、グランドハイアット
東京において、機関投資家向けに
JTインターナショナル(以下、JTI)
社長兼CEOのトーマス・A・マッコイ
(Thomas A. McCoy)が、JTI2015
年実績および2016年見込について
プレゼンテーションを行いました。
要約は以下の通りです。



プレゼンテーションするトーマス・A・マッコイJTI社長兼CEO

■プレゼンテーションは、JTホームページでご覧いただけます。
<https://www.jti.co.jp/investors/release/index.html>

2015年(1-12月)実績

JTIは、2015年も引き続き力強い利益成長を達成いたしました。

総販売数量は減少しましたが、われわれのグローバル・フラッグシップ・ブランド(以下、GFB)は、強固なブランドエクイティとこれまでの事業投資が奏功し、販売数量は4.3%増加いたしました。

GFBシェアは、多くの市場においての目覚ましい成長により、1.2%ポイント伸長し、17.8%となりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益および調整後営業利益も、それぞれ7%、10.8%の成長となりました。これによって為替一定ベースでは、5期連続で10%を超える利益成長を成し遂げたこととなります。

これまでブランドエクイティ強化に向けた事業投資を継続してきたからこそ、GFB販売数量およびシェアの増加、そして着実な値上げの機会を捉えることができ、このような力強い利益成長に繋がったものと考えております。

2015年の目標であった事業基盤の拡大についても、質・量ともに高い水準で実行してまいりました。足元の利益増加に寄与する施策のみならず、将来の利益貢献が期待できる新規市場への投資も積極的に実施しました。

Emerging Products分野においても、Logicの買収や新しいコンセプトの製品投入によって製品ポートフォリオを拡充するとともに、積極的な地理的拡大も図ってまいりました。

■主要市場シェア

	2014年12月	2015年12月	増減%pt
フランス	20.8%	21.4%	0.6%pt
イタリア	19.9%	21.1%	1.2%pt
ロシア	34.9%	33.6%	△1.2%pt
(うち、GFBシェア)	23.9%	24.1%	0.2%pt
スペイン	21.7%	22.3%	0.6%pt
台湾	38.4%	39.2%	0.8%pt
トルコ	29.0%	30.2%	1.1%pt
英国	41.3%	42.0%	0.7%pt

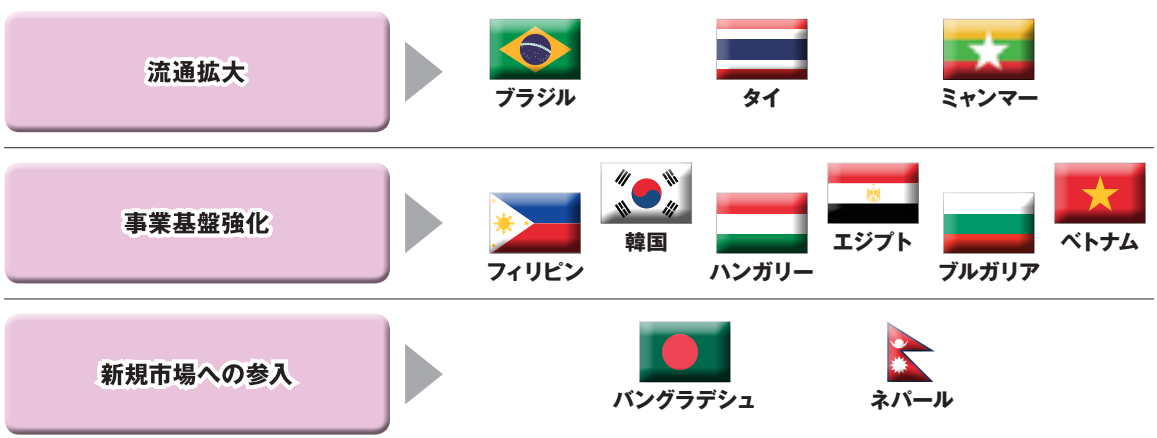
■ Emerging Products 分野でのリーダーシップ獲得に向けた取り組み

E-VAPOR	TOBACCO-VAPOR
---------	---------------



※このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

■ 地理的拡大に向けた投資を強化



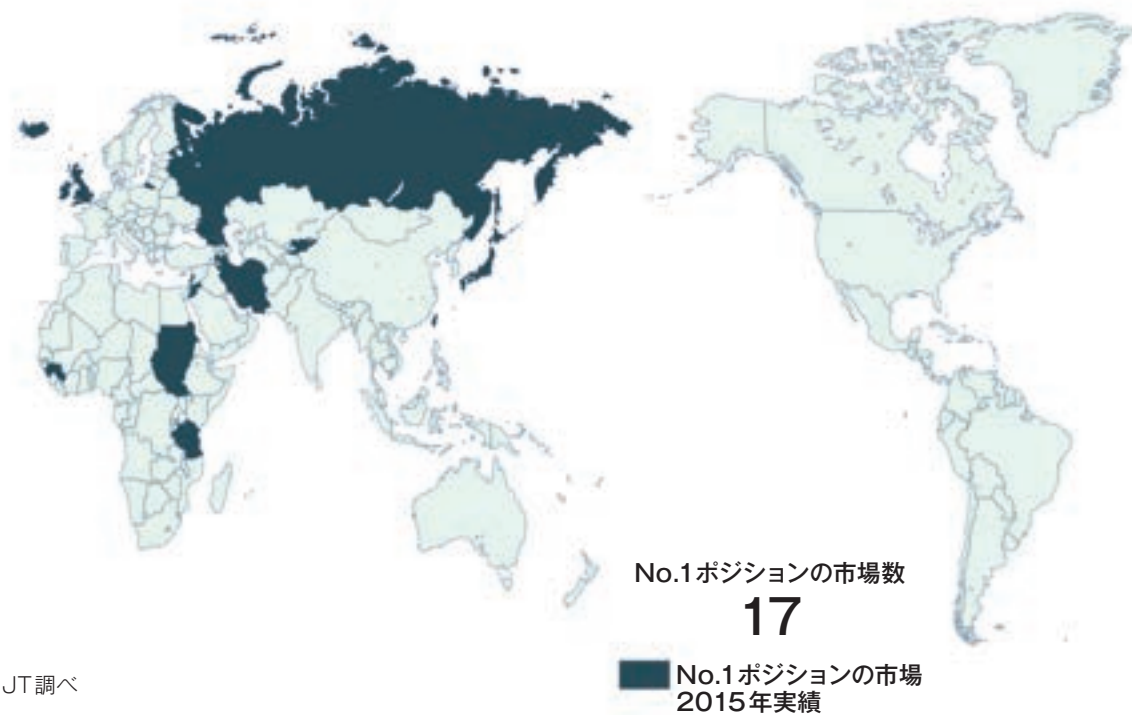


2016年(1-12月)見込

2016年は、為替一定ベースの調整後営業利益では対前年9%増と引き続き高い水準の成長を見込んでおります。しかしながら、われわれを取り巻く事業環境は、欧州における経済環境の改善はみられるものの、世界的な規制動向、為替影響、中東における地政学上のリスク、ロシアの景気後退と総需要減少等、引き続き厳しい状況に変わりはないものと認識しております。そのような状況の中、われわれはこれまで通り自律的成長に向けた不断の投資とM&Aによって事業基盤を強固にし、中長期的な

利益成長に繋げていく考えに変更はありません。2016年も厳しい事業環境が継続するものと想定しておりますが、引き続きブランドエクイティの強化と地理的拡大を進めていくことに加え、Emerging Products分野への投資を強化していくことにより、好調なモメンタムを継続させてまいります。このように、短期的利益の追求だけでなく、中長期にわたり持続的成長を継続させていくための事業投資を強化していくことにより、JTグループの利益成長の牽引役としての役割を果たし続けてまいります。

■ 地理的基盤を着実に強化

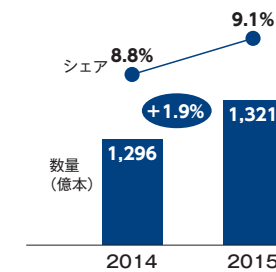


ブランド紹介

GFBの中でも主力である「Winston」「CAMEL」「LD」のパフォーマンスを紹介します。(数値はJT調べ)

Winston

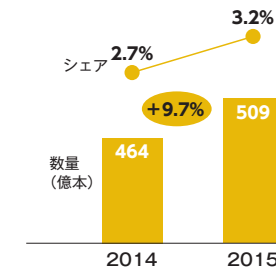
エクイティ向上、イノベティブな製品投入、グローバル展開へ積極的に投資



- 40市場で二桁の販売数量成長率
- 23市場で過去最高のシェア
- Fine cutの力強いパフォーマンス
- イノベティブな製品を引き続き積極的に投入
- 121市場へ展開市場数を拡大

CAMEL

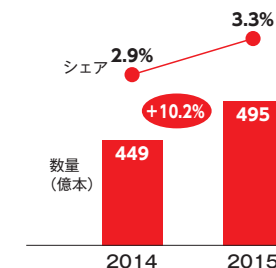
過去最高の販売数量を記録



- GFB販売数量成長へ大きく貢献
- チェコ、イタリア、オランダ、トルコ、スペインで過去最高のシェア
- 35市場でパッケージ改善実施
- 15市場でダブルカプセル製品を他社に先駆け投入

LD

10%の数量成長を達成



- LD Club Compactが販売数量成長を牽引
- 12市場で過去最高のシェア
- 8市場へ新規投入、展開市場数は46市場へ増加

※このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

たばこ用デバイス「プルーム・テック」と専用たばこカプセル「メビウス・フォー・プルーム・テック」3銘柄 3月上旬新発売！

JTは、火を使わず、たばこペーパー（※1）でクリアなたばこの味わいを楽しむたばこ用デバイス「プルーム・テック」と、専用たばこカプセル「メビウス・フォー・プルーム・テック」3銘柄を、3月上旬より、福岡市の一部販売店およびプルームオンラインショップ（※2）で発売しました。

「プルーム・テック」は、バッテリーとカートリッジからなるたばこ用デバイスで、たばこ葉が詰まった専用たばこカプセルをセットすることでお楽しみいただけます。カートリッジ内のリキッドを霧化し、たばこカプセル内を通すことでたばこペーパーを発生させる独自のテクノロジーを搭載し、クリアなたばこの味わいを実現しました。

また、専用たばこカプセルとして、紙巻たばこ国内No.1ブランドである“メビウス”の名を冠した、スムーズな味わいが特徴の「メビウス・フォー・プルーム・テック」を開発しました。お客様の好みに合わせてさまざまな味わいをお選びいただけるよう、レギュラー1銘柄、メンソール2銘柄の計3銘柄を取り揃えています。

本商品は、火を使わないため、燃焼にともなう煙のにおいがなく、灰も出ない、JTが提案する新しいたばこのスタイルです。これが、周囲への配慮という観点において、JTが目指す吸われる方と吸われない方が協調して共存できる社会の実現に貢献しうることを期待しています。

※1 当社では、たばこ葉由来の成分を含む霧状のものを「たばこペーパー（Tobacco Vapor）」と呼んでいます

※2 当社子会社であるJTクリエイティブサービスによるオンライン（<https://shop.ploom.jp>）での販売となります



独自のテクノロジーにより、クリアなたばこの味わいを実現、使いやすさを徹底的に追求

商品概要

〈プルーム・テック（たばこ用具）〉
「プルーム・テック」スターターキット（キャリアケース付）
【価格】 4,000円（税込希望小売価格）
※プルーム・テック専用のたばこカプセルは別売

〈たばこカプセル（たばこ製品）〉 *たばこカプセルの内容物はたばこカプセル5本、カートリッジ1本。
「メビウス・レギュラー・フォー・プルーム・テック」
【喫味】 レギュラータイプ
「メビウス・クーラー・グリーン・フォー・プルーム・テック」
【喫味】 メンソールタイプ
「メビウス・クーラー・バーブル・フォー・プルーム・テック」
【喫味】 メンソールタイプ
【小売定価】 460円

当社グループによる Natural American Spirit 米国外たばこ事業の買収完了について

JTグループは、2015年9月29日に発表したNatural American Spirit米国外たばこ事業の買収について必要な手続きを経て2016年1月に完了いたしました。

高価格帯で強いプレゼンスを有するNatural American Spiritの取得を通じて、JTグループのブランドポートフォリオを拡充し、競争力強化を図るとともに、今回取得した事業会社とJTグループが持つ相互の強みを最大限に活かすことによって、同ブランドの成長を加速させてまいります。

なお、本買収が2016年12月期の当社連結業績に与える影響については、取得した事業にかかる事業運営計画の策定を通じて精査してまいります。また、2015年12月決算発表時に公表した2016年12月期の業績予想に一定の前提において織り込んでおります。

※このページは株主の皆様に事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

株主優待商品の発送について

JTでは株主の皆様へ、当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループ事業をより一層ご理解いただきたいの思いから、株主優待制度を実施しております。

2015年12月31日現在、当社株式100株以上保有の株主様に、保有株式数に応じてご希望の優待商品を4月下旬より順次贈呈させていただきます。優待商品は、テーブルマーク株式会社、富士食品工業株式会社、株式会社サンジェルマンの商品をご用意しております。

優待商品のお申し込みにつきましては、3月22日をもって締め切らせていただいておりますが、お申し込みをご希望の株主様はお早めに下記の「JT株主優待事務局」へご連絡いただきますようお願いいたします。

優待商品につきましては、2015年12月31日現在の株主名簿にご登録のご住所宛にお届けいたしますので、1月以降にお引越等により住所変更がある場合は、下記の「JT株主優待事務局」へご連絡ください。

あわせて、口座を開設されている証券会社様にて住所変更のお手続きをお願いいたします。

特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社にてお手続きをお願いいたします。

株主優待に関するお問い合わせ

JT 株主優待事務局

商品発送代行：(株)JTクリエイティブサービス

0120-791-187

受付時間／平日9:00～17:00 土・日・祝日を除く

株主優待における、 東日本大震災復興支援への寄付について

2015年6月30日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、2,898名の株主様に選ばいただきました。

その総合計額5,638,000円を2015年12月18日に社会福祉法人 中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 2」』を通じて、東日本大震災の復興支援のために活動するNPO法人に寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



**社会福祉法人
中央共同募金会とは**

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れおよび調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

業績報告書の発送回数変更のお知らせ

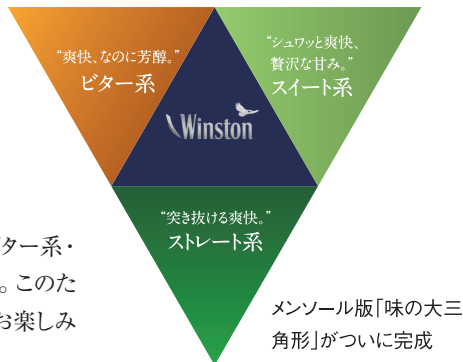
印刷の削減による地球環境保護の観点から、株主の皆様へ年4回お届けしていた業績報告書については、発送回数を年2回（本決算、第2四半期決算後）に変更することといたしました。

なお、タイムリーな情報提供を継続するため、業績報告書の作成自体は、引き続き年4回実施いたします。第1四半期、第3四半期決算後に作成する業績報告書については、JTグループのホームページ（<https://www.jti.co.jp/investors/library/report/>）をご覧くださいませようようお願い申し上げます。

「ウィンストン」のメンソールに新ジャンル登場!

ビター系の「スピリッツ」、 スイート系の「スパークリング」

お客様の多様な嗜好にお応えし続けることを目指し、レギュラー商品で“ビター系・ストレート系・スイート系”の3つのラインナップをご用意した新生「ウィンストン」。このたび、レギュラー商品だけではなく、メンソール商品でも同様に3つの味わいをお楽しみいただきました。新商品を投入いたしました。



メンソール版「味の大三
角形」がついに完成



ウィンストン・XS・スピリッツメンソール・8・ボックス
タール値:8mg / ニコチン値:0.7mg

ウィンストン・XS・スピリッツメンソール・5・ボックス
タール値:5mg / ニコチン値:0.4mg

ウィンストン・XS・スピリッツメンソール・ワン・100's・ボックス
タール値:1mg / ニコチン値:0.1mg

爽快、なのに芳醇。 新ジャンル! ビター系メンソール

メンソールの新ジャンル、ビター系の“XS・スピリッツライン”は、フィルター部分にカプセルを搭載した商品です。カプセルをつぶすと、強メンソールの爽快感に加え、ビターでコクのある芳醇な味わいと香りをお楽しみいただける、今までにないメンソール商品です。

価格:各420円(20本入)

シュワッと爽快、贅沢な甘み。 新感覚! スイート系メンソール

スイート系のメンソール、“XS・スパークリングライン”は、独自のブレンド“スパークリングブレンド”を採用し、フィルター部分にカプセルを搭載した商品です。カプセルをつぶすと、シュワッとした新感覚の爽快感と贅沢な甘みをお楽しみいただけます。

ウィンストン・XS・スパークリングメンソール・8・ボックス
タール値:8mg / ニコチン値:0.6mg

ウィンストン・XS・スパークリングメンソール・5・ボックス
タール値:5mg / ニコチン値:0.4mg

ウィンストン・XS・スパークリングメンソール・ワン・100's・ボックス
タール値:1mg / ニコチン値:0.1mg

価格:各420円(20本入)



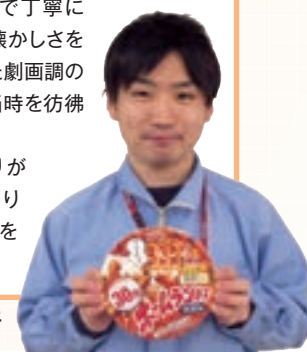
ホームラン軒【復刻版】 とりがらすーぷ (しょうゆ味) 合わせ味噌仕立て (みそ味)

▶シリーズ30周年を記念して 復刻版を東北6県で限定発売

※3月1日よりテーブルマーク オンラインショップでも発売

担当者コメント

「スープが旨いラーメン屋」をコンセプトに誕生したホームラン軒は、今年で発売30周年を迎えます。それを記念して発売当時の味を再現しました。こだわりは、ずばりスープです。当時のレシピに従い厳選した原料で丁寧に仕込んでおり、当時の味を知る人に懐かしさを感じていただける仕上がりです。また劇画調のイラストが印象的なパッケージも、当時を彷彿させるデザインとなっています。2品ともホームラン軒のこだわりが詰まっていますので、これを機により多くの人にホームラン軒シリーズをお試しいただければと思います。



テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 浦上真吾



- ▶焦がし風味の醤油だれと旨さを引き立てる彩り具材
- ▶しっかり混ぜてたれを麺に絡ませ、熱々をお召しあがりください

油そば

1食入 / 229g



- ▶大きめの筍とわかめを具材に 白身魚のすり身をふんわりと揚げました
- ▶徳島県産すだち果汁を加えた和風たれで季節の彩りをお届けします

いまだき和膳 筍と三陸産わかめの寄せ揚げ

4個入 / 116g

JTグループの CSRの取り組み



JTグループは、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、事業展開地域でさまざまな社会的課題の解決に取り組んでいます。

このページでは、国内外におけるJTグループのCSR（企業の社会的責任）の取り組み事例についてご紹介します。

JTならではのユニークな施設で 文化・芸術の発展に寄与する活動に取り組んでいます

自然・生命・人間について考える場 JT生命誌研究館

JT生命誌研究館は、「生命誌」を音楽・絵画のように誰でも楽しめる場を目指して1993年に設立されました。生命誌は、当館館長の中村桂子が提唱した、生きものを基本に人間の生き方を探る新しい「知」です。館内には、日常生活の中で細胞がどのように働くのかを表現した「細胞展」や、1段1億年の階段を登りながら38億年の歴史を楽しむ「生命誌の階段」など、生きものの魅力をお伝えする約20の展示があり、どなたでも自由に見学することができます。

展示のほかには、当館の研究員から最新研究の話の聞いたり、生きものや生きものの進化を通して、生命誌を考えたりする「生命誌の日」、普段はお見せしていない実験室を年に3回公開する「実験室見学ツアー」、当館の研究や表現の活動を体験できる「サマースクール」など、さまざまな催しをご用意しています。

チョウのための庭「Ω(オメガ) 食草園」

屋上にある「Ω食草園」は、自然のチョウが訪れる庭で、ここではチョウの営みや季節の移り変わりを感じることができます。また、日常と研究をつなぐ場でもあります。

蜜が豊富な花やチョウの幼虫のための食草を2003年から植えはじめて、種類を少しずつ増やしてきました。訪れたチョウが産んだ卵は、幼虫から成虫へと元気よく育ち、空へと帰っていきます。日々のチョウの様子を眺めていると、チョウはなぜ決まった植物に卵を産むのだろう？ なぜこんな色をしているのだろう？ という「なぜ？」があふれてきます。ここで、一緒にチョウの生命誌を考えてみませんか。

JT生命誌研究館は、入場無料、予約不要です。ぜひ、お気軽に足をお運びください。



生命誌の基本をわかりやすく、美しく、かつ考えを深めるものとして表現する「生命誌マンダラ」



生命誌研究館の4階にあるチョウのための「Ω食草園」

■JT生命誌研究館 URL: www.brh.co.jp/
住所: 〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 Tel: 072-681-9750(代) 交通: JR京東線高槻駅より徒歩10分
開館時間 毎週火曜～土曜日 10:00～16:30
休館日 毎週日曜日と月曜日、年末年始(12月29日～翌年の1月4日)。ただし準備などのため臨時休館する場合があります

事業活動と環境との調和の実現に向けた取り組みを 推進しています

JTグループでは、地球環境保全を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境マネジメントの基本理念であるJTグループ環境憲章のもと、持続可能な社会の実現を目指しています。

より長期的視点での環境保全活動を目指して策定したJTグループ環境長期計画では、地球温暖化防止、水資源保全、生物多様性保全、廃棄物削減の4つの重点分野について、2020年に向けて目標を設定し、取り組みを進めています。



日々の事業活動の中で、廃棄物削減に取り組んでいます

JTグループでは、資源の有効活用と廃棄物の発生抑制のため、リデュース(Reduce: 発生抑制)、リユース(Reuse: 再使用)、リサイクル(Recycle: 再資源化)の「3R」を推進しています。工場において梱包材の再使用を行うほか、各事業所において処理方法の見直しや分別の徹底に継続して取り組んでいます。

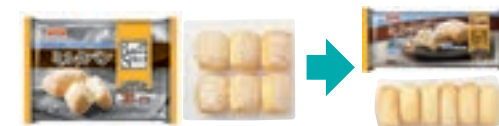
国内JTグループでは、商品の容器包装材の使用量削減にも取り組み、社会全体における廃棄物の発生抑制を目指しています。テーブルマーク株式会社では、一部のバックごはん商品の容器包装形状を見直し、従来品と比較して、包装材使用量を約10%削減、また一部の冷凍焼成パンでは約45%削減しました。これにより物流におけるエネルギー使用量や、家庭から出るごみの削減などに貢献しています。

テーブルマークの取り組み

包装材使用量を削減したコンパクトトレイ



包装材使用量を約10%削減



包装材使用量を約45%削減

JTグループの詳しいCSRの取り組みについては、JTウェブサイトをご覧ください。 JT CSR



阿波池田うだつ*の家・たばこ資料館〔徳島県〕

*隣家との間に設けられた防火壁

うだつの町並みが伝える
たばこで栄えし日の風景

徳島県三好市池田町はたばこ製造業で発展を遂げた町です。同町の近隣では原材料となる葉たばこ「阿波葉」の生産が盛んに行われていました。たばこの製造・販売が専売制になる明治37(1904)年の『徳島県統計書』には、67軒ものたばこ製造業者が存在した記録が残されています。また、この池田町にはうだつを取り付けた家屋が数多く残っています。うだつは富の象徴でもあり、現在、池田町に残る「うだつの家」の多くが、かつてのたばこ製造業者の家屋・工場だったといわれています。

「阿波池田うだつの家・たばこ資料館」も民営期のたばこ工場の

建物を利用した資料館です。館内にはこの地で誕生したといわれるたばこ製造機「かなな刻み機」を中心に、民営期のたばこ製造に用いた器具類や資料などが多く保管・展示されています。たばこ製造業が専売制になった後、池田町には大蔵省専売局の大規模なたばこ工場が建てられ、平成2(1990)年までJT池田工場として稼働していたことから、同館には同工場の資料も展示されています。

「阿波池田うだつの家・たばこ資料館」がある古い町並みを散策すれば、かつて「たばこの町」として栄えた時代の風景が思い浮かんできます。



館内の様子。「阿波葉」を中心とした刻みたばこの原材料となる葉たばこも展示されており、触れることができる



平成11(1999)年にたばこ資料館の開館に合わせて作られた「かなな刻み機」の模型は平成24(2012)年に実演できるよう改良された



かつてのJT池田工場の跡地に残る野口雨情の歌碑。「刻煙草ちや池田か本場 昔なからの阿波刻み」と刻まれている



工場だった当時に作られていたパッケージを展示

毎年2月に池田町で開催される「四国 酒まつり」は、四国4県の40軒を超す酒蔵が一堂に集まる一大イベント。この祭りに合わせ「阿波池田うだつの家・たばこ資料館」では、平成24(2012)年から「かなな刻み機」による刻みたばこ製造の実演を行っています。かつて同地近隣で生産されていた「阿波葉」を用いて、江戸時代から明治中期にかけて行われていた製造方法を見ることができる数少ない機会です。

現在、池田町を有する三好市には4軒の酒蔵があり、明治37(1904)年に専売制が実施されるまでは刻みたばこの製造を行っていたところもあります。かつてのたばこ製造業者の多くが、酒造業や醤油・味噌の醸造業に替わったといわれます。

池田町といえば、「池田高校野球部」の名将・故薦文也監督を思い出す方も多いのではないのでしょうか。「阿波池田うだつの家・たばこ資料館」のそばに今も残る薦監督の生家でも、かつてはたばこ製造を行っていたそうです。

■ 阿波池田うだつの家・たばこ資料館

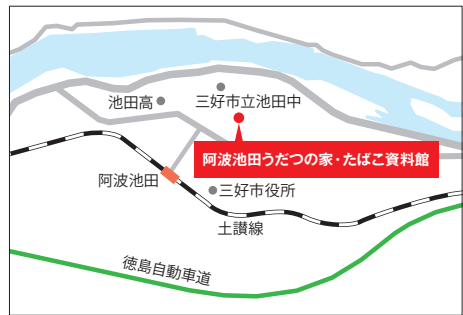
所在地／〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2465-1

アクセス／JR土讃線「阿波池田駅」下車、徒歩10分

お問い合わせ先／0883-72-3450



池田町に隣接する山城町は、刻みたばこの原材料となる「阿波葉」の発祥地といわれ、江戸時代の修験者「筑後坊」が伝えたと言われます



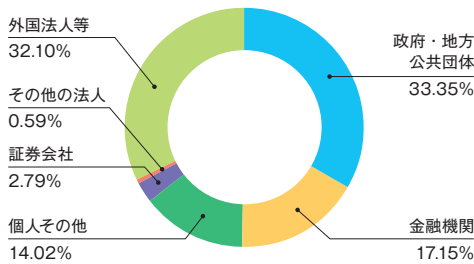
会社概要

商 号	日本たばこ産業株式会社	設 立	1985年(昭和60年) 4月1日
本社所在地	〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル	資 本 金	1,000億円
	TEL.(03) 3582-3111(代表) FAX.(03) 5572-1441		

株式の状況

2015年12月31日現在

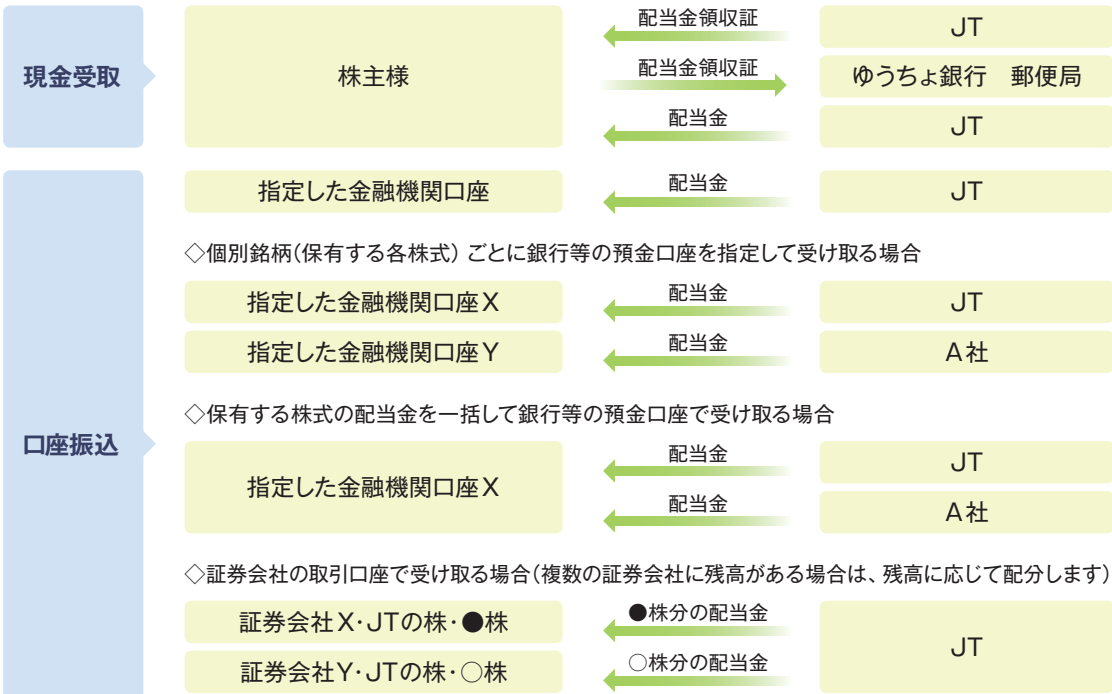
所有者別構成比



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 209,285,431株)	2,000,000,000株
株主数	121,931名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

2016年3月23日現在

取締役

取締役会長	丹呉 泰健
代表取締役社長	小泉 光臣
代表取締役副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	岩井 睦雄
取締役副社長	宮崎 秀樹
取締役	岡 素之*
取締役	幸田 真音*

※取締役 岡 素之および幸田 真音は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

監査役

常勤監査役	中村 太
常勤監査役	湖島 知高
監査役	今井 義典*
監査役	大林 宏*

※監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

※法令に定める監査役の数に満たない場合には、補欠監査役 政木 道夫を選任しております。

執行役員

社長 (CEO)	小泉 光臣
副社長 (副CEO、コンプライアンス・総務・法務・企画・IT・ビジネスディベロップメント・人事・監査担当)	新貝 康司
副社長 (たばこ事業本部長)	岩井 睦雄
副社長 (財務・CSR・コミュニケーション担当)	宮崎 秀樹
専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当)	千々岩良二
常務執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)	山下 和人
常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)	佐々木治道
執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)	廣渡 清栄
執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画室長)	福地 淳一
執行役員 (たばこ事業本部 原料責任者)	長谷川 靖
執行役員 (たばこ事業本部 R&D責任者)	柴山 武久
執行役員 (たばこ事業本部 製造責任者)	大友 平和
執行役員 (医薬事業部長)	藤本 宗明
執行役員 (医薬事業副部長)	松田 剛一
執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)	大川 滋紀
執行役員 (財務責任者)	見浪 直博
執行役員 (CSR担当)	永田 亮子
執行役員 (法務担当)	山田 晴彦
執行役員 (企画・IT担当)	前田 勇気
執行役員 (ビジネスディベロップメント担当)	筒井 岳彦
執行役員 (人事担当)	嶋吉 耕史
執行役員 (コミュニケーション担当)	中野 恵

株価の推移

1994年10月27日上場～2016年2月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています